

特定行為研修

(指定機関申請中)

2022 年度

5 月開講予定

募 集 要 項



独立行政法人国立病院機構

岡山医療センター

特定行為研修の概要

国立病院機構は、「私たち国立病院機構は、国民一人ひとりの健康と我が国の医療の向上のため、たゆまぬ意識改革を行い、健全な経営のもとに患者さんの目線に立って懇切丁寧に医療を提供し、質の高い臨床研究、教育研修の推進につとめます。」の理念のもと、急性期医療からセーフティネット分野の医療を担い、地域医療に貢献してきました。

医療を取り巻く環境が変化しても、患者や地域住民が必要とする医療を安定的かつ継続的に提供していく上では、医療提供体制の充実・強化が必要不可欠です。また、医療の質を向上させ、維持するために、未来を担う医療人の育成は国立病院機構の責務と考えます。これらの使命を果たすべく、国立病院機構は看護師特定行為研修を推進することとしました。

<研修理念>

国立病院機構の理念のもと、岡山医療センターは「今、あなたに、信頼される病院—病める人への献身、医の倫理に基づく医療への精進と貢献—」を理念に掲げ、県南東部の基幹病院として、周産期母子医療・ゲノム診療を含むがん医療・地域災害医療等を担い、地域医療支援病院としての役割を果たしています。

今後も、総合的で高度な急性期医療が提供できるよう医療チームの総合力を高めていく必要があり、岡山医療センターの看護師特定行為研修（以下「本研修」という。）は、チーム医療の要である看護師が、患者の状態・状況を自律的に判断し、特定行為の実施も含めた適切な医療を提供することにより、これからの時代に望まれる医療に向けて役割を果たせることを目指しています。なかでも、特定行為の実施にあたっては、研修後も自己研鑽を重ね、より安全で質の高い看護の提供を探求する姿勢を養うことを重視します。また、本研修は地域医療構想の実現、地域包括ケアシステムの構築に貢献できる看護師の育成を、地域の医療機関とともに連携・協働して行っていくものとし、地域における医療人の育成に貢献していくことを目指します。

<研修目的>

特定行為の実践に必要な専門的知識および技術を習得し、高度急性期医療における役割を發揮し、チーム医療を推進できる能力を養う。

<研修目標>

1. 高度急性期医療の現場において、対象の病態とその変化を迅速かつ包括的にアセスメントできる能力を養う。
2. 特定行為を実践する上での知識、技術及び態度を身につける。
3. 高度急性期医療の現場において、手順書に則り、必要な特定行為を患者の安心や安楽に配慮しつつ、安全に実践できる能力を養う。
4. 高度急性期医療の現場において、問題解決に向けて多職種と効果的に協働できる能力を養う。
5. 自らの看護実践を検証し、判断力・技術力の向上及び標準化するための能力を養う。

<研修内容>

1. 共通科目（特定行為区分に共通して必要とされる能力を身につけるための科目）

No	科目名	時間数
1	臨床病態生理学	30時間
2	臨床推論	45時間
3	フィジカルアセスメント	45時間
4	臨床薬理学	45時間
5	疾病・臨床病態概論	40時間
6	医療安全学/特定行為実践	45時間
小 計		250時間

*共通科目は、講義（e-ラーニング）・演習・実習で構成されます。時間数には試験時間を含みます。

演習・実習は S-QUE 研究会の特定行為研修 e-ラーニングを用いた集合研修で行います。

2. 区分別科目（各特定行為に必要とされる能力を身につけるための科目）

外科術後病棟管理領域パッケージ・血糖コントロールに係る薬剤投与関連・呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連から選択することができます。

	特定行為区分	特定行為	時間数
外科術後病棟管理領域	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	10+5 症例
	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更	18+5 症例×2
		非侵襲的陽圧換気の設定の変更	
	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	気管カニューレの交換	11+5 症例
	胸腔ドレーン管理関連	低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定およびその変更	15+5 症例×2
		胸腔ドレーンの抜去	
	腹腔ドレーン管理関連	腹腔ドレーンの抜去（腹腔内に留置された穿刺針の抜針を含む）	9+5 症例
	栄養に係るカテーテル関連（中心静脈カテーテル管理）関連	中心静脈カテーテルの抜去	8+5 症例
	栄養に係るカテーテル関連（末梢留置型中心静脈用カテーテル管理）関連	末梢留置型中心静脈用カテーテルの挿入	10+5 症例
	創部ドレーン管理関連	創部ドレーンの抜去	7+5 症例
	動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	10+5 症例
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	12+5 症例
	術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	9+5 症例
循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	17+5 症例×2	
	持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整		
小 計			136+5 症例×15 行為
血糖コントロールに係る薬剤投与関連		インスリンの投与量の調整	17+5 症例
呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連		気管カニューレの交換	11+5 症例

*区分別科目を履修するためには、共通科目の全科目に合格していることが必要です。

区分別科目は、講義（e-ラーニング）・演習・実習で構成されます。演習及び教室実習は集合研修で行います。一部の特定行為は、臨床実習の前に実技試験（OSCE）を行います。実技試験に合格しなければ臨床実習に進むことができません。

臨床実習は、特定行為ごとに5症例以上経験します。

<実症例数が不足した場合の対応>

実習期間内に必要な症例数の経験が満たされなかった場合は実習を延長して対応します。

<実効性確保のための対応>

e-ラーニングによる学習環境を調整し、e-ラーニングにおける講義は、各自のパソコンで自宅等で視聴も可能です。

<研修修了要件>

研修科目における出席時間が当該科目時間数を満たしたうえで、各科目に定める修了試験（筆記試験・実技試験・実習評価等）に合格し、看護師特定行為研修管理委員会において、修了と判定された場合に研修修了となります。

*特定行為研修修了後、修了証を交付し、研修修了者の名簿を厚生労働省に提出します。

<研修期間>

外科術後病棟管理領域パッケージ	2022年5月6日～2023年1月31日
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	2022年5月6日～2022年9月30日
呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	2022年5月6日～2022年9月30日

<研修日程>

*外科術後病棟管理領域パッケージ

2022年5月6日	開講式・ガイダンス
2022年5月9日	共通科目受講開始
2022年6月27日～7月7日	集合研修（共通科目の演習・実習）
2022年7月7日～8日	共通科目試験
2022年7月11日	区分別科目受講開始
2022年7月13日～15日	集合研修 呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）に関する演習・実技試験
2022年7月27日～29日	集合研修 呼吸器（気道確保に係るもの）に関する実技試験
2022年9月5日～9日	集合研修（区分別科目の演習・実技試験）
2022年9月19日～	臨床実習開始
2022年11月下旬～12月上旬	臨床実習修了
2022年12月12日～14日	区分別科目試験
2023年1月31日	修了式

*血糖コントロールに係る薬剤投与関連

2022年5月6日	開講式・ガイダンス
2022年5月9日	共通科目受講開始
2022年6月27日～7月7日	集合研修（共通科目の演習・実習）
2022年7月7日～8日	共通科目試験
2022年7月11日	区分別科目受講開始
2022年7月22日	集合研修（血糖コントロールに係る薬剤投与関連に関する演習）
2022年8月1日～	臨床実習開始
2022年8月中旬	臨床実習終了
2022年8月29日	区分別科目試験
2022年9月30日	修了式

*呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連

2022年5月6日	開講式・ガイダンス
2022年5月9日	共通科目受講開始
2022年6月27日～7月7日	集合研修（共通科目の演習・実習）
2022年7月7日～8日	共通科目試験

2022年7月11日	区分別科目受講開始
2022年7月13日～15日	集合研修 呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連に関する演習・実技試験
2022年7月25日～	臨床実習開始
2022年8月中旬	臨床実習終了
2022年8月29日	区分別科目試験
2022年9月30日	修了式

<研修場所・実習施設>

集合研修：独立行政法人国立病院機構岡山医療センター

西棟 7階スキルアップシアター（スキルアップラボ、特定行為研修室）、

e-ラーニング・臨床実習期間：所属施設

<研修経費>

1. 受講料

費 目		金 額
受講審査料		¥20,000
共通科目受講料		¥200,000
区分別科目	1 外科術後病棟管理領域パッケージ	¥250,000
	2 呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	¥40,000
	3 血糖コントロールに係る薬剤投与関連	¥40,000

2. その他

受講料以外に、学習に必要なテキスト等の書籍費が必要になります。

<その他>

1. 履修免除について

他の特定行為研修指定研修機関及び S-QUE 研究会・学研・放送大学などの特定行為研修に関する e-learning で履修した学習内容が、本研修の学習内容に相当するものと認められる場合、履修免除となることがあります。

2. 看護職賠償責任保険について

本研修の受講決定後は、開講式までに看護職賠償責任保険に加入してください。

3. 集合研修中の宿泊先は受講生で手配してください。

応募要領

1. 受講資格

以下のすべてを満たしていること

- 1) 日本国内における看護師免許を有すること
- 2) 看護師免許取得後、5年以上の実務経験を有すること
- 3) 所属施設長の推薦を有すること

2. 募集人員

外科術後病棟管理領域パッケージ	5名
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	3名
呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	1名

3. 試験日：2022年3月11日（金）

4. 試験科目：小論文（800字程度）、面接試験

5. 出願手続

- 1) 出願期間：2022年2月7日（月）～ 2022年2月22日（火） 消印有効

2) 出願書類

- ① 受講申請書（指定用紙・様式1）
- ② 履歴書（指定用紙・様式2）
- ③ 志願理由書（指定用紙・様式3）
- ④ 所属施設長の推薦書（指定用紙・様式4）
- ⑤ 看護師免許の写し（A4サイズ）
- ⑥ 実習施設情報（指定用紙・様式5）
- ⑦ 受験票（指定用紙・様式6）
- ⑧ 写真票（指定用紙・様式6）
- ⑨ 返信用封筒（指定封筒）
- ⑩ 振込通知書

3) 審査料：20,000円

- (1) 納入は、銀行振り込みとします。本研修指定の「振込依頼書」を使用し、振り込んでください。
- (2) 「ご依頼人」は、必ず申請者本人の氏名を記入し、銀行窓口に提出してください。
尚、お名前の頭に「特定行為」を印字しているので、その続きに記入してください。
- (3) 振込手数料は、ご依頼人の負担となります。
- (4) 「振込金受取書」をもって領収書に代えさせていただきますので、保管しておいてください。
- (5) 振込後は「振込通知書（センター提出用）」を出願書類とともに郵送してください。

4) 出願書類の書き方

(1) 受講申請書：指定用紙（様式1）

- ① 「申請者氏名（ふりがな）」は、本人が自筆で署名してください。

(2) 履歴書：指定用紙（様式2）

- ① 年齢は、2022年4月1日現在で記入してください。
- ② 電話番号は、いつでも連絡がとれる番号をいずれか1つは記入してください。
- ③ 一般学歴・専門学歴は、いずれも最終学歴を記入してください。
- ④ 職歴は、正式な施設名と診療科、勤務期間を記入してください。

⑤写真は6か月以内に撮影したもの（縦40mm×横30mm、裏面に氏名記載）を貼付してください。

(3) 志願理由書：指定用紙（様式3）

①「志願理由」は、臨床看護の経験を含めて、具体的に記載してください。

(4) 推薦書：指定用紙（様式4）

①推薦者氏名には、施設長の氏名を記入し、施設長印を押印してください。

②「推薦理由」は、「受講希望者の看護実践能力、研修修了後の期待される役割等」を具体的に記載してください。

③推薦書は「厳封」にて準備してください。開封すると無効になるので、厳封のまま送付してください。

(5) 看護師免許証の写し

①看護師免許（原本）をA4サイズに縮小し複写したものを提出してください。

(6) 実習施設情報：指定用紙（様式5）

①実習を行う予定の施設リスト

実習を行う場所（自施設または実習協力が可能な他施設）を記載してください。

②受講を希望する特定行為に関する施設情報

・受講するすべての科目について施設情報を記載してください。

・実習を行う施設について、施設リストに記入した番号を記載してください。実習する施設がない区分別科目については、⑤と記載してください。

・各特定行為について、直近2箇月間で特定行為の対象となる患者が5例以上いる場合は○をつけてください。

・本研修の臨床実習と修了後の指導体制を確認するため、受講申請時点での指導者確保の可能性について、指導者がいる場合に○をつけてください。

*指導者とは：臨床経験が7年以上で、「医師の臨床研修に係る指導医講習会」を受講している医師をいいます。

(7) 受験票：指定用紙（様式6）

①氏名（ふりがな）、生年月日を記入してください。

(8) 写真票：指定用紙（様式6）

①「履歴書」に使用した同じ写真を貼付してください。

②氏名（ふりがな）、生年月日を記入してください。

(9) 返信用封筒：指定封筒

①受験票送付封筒に受験者の住所、郵便番号及び氏名を記入し、速達郵便額相当分（380円）の郵便切手を貼ってください。封筒の送付先は、受験者に確実に届く住所を記入してください。

5) 出願方法

出願書類を一括して封筒に入れ、書留郵便での郵送又は持参してください。

封筒の表の左側に、「特定行為研修」と朱書きしてください。

6) 注意事項

(1) 試験日の4日前になっても受験票が届かない場合は、下記へお問い合わせください。

独立行政法人国立病院機構岡山医療センター 管理課 深来 繁

電話（代表）090-294-9911 内線8181

(2) 一旦納入した審査料及び提出書類は、返還できません。

6. 選考方法

小論文、面接試験の結果及び出願書類を総合し、合否判定基準に基づき判定します。

7. 試験会場及び時間割等

1) 試験会場

独立行政法人国立病院機構岡山医療センター 西棟8階研修室

2) 時間割

試験科目	試験時間
受 付 (30分)	13:00~13:30
オリエンテーション (15分)	13:30~13:45
小 論 文 (60分)	13:45~14:45
面接オリエンテーション (15分)	14:45~15:00
面接(原則、受験番号順で行います。)	15:00~終了まで

3) 試験に持参するもの

- ①受験票・写真票
- ②筆記用具(HB又はBの鉛筆・シャープペンシルを準備してください)

4) 試験時の注意点

- (1)試験中は携帯電話の電源を切って、カバンに入れてください。
- (2)試験中は、係員の指示に従ってください。
- (3)病院駐車場は、原則使用できません。公的交通機関を利用してください。

8. 合格発表・入講手続

1) 合格発表日：2022年3月23日(木)

- (1)病院ホームページに午前10時、合格者受験番号を掲示します。
- (2)同日、合否結果を本人及び推薦者の施設長宛に通知文書を郵送します。
- (3)電話での合否の問い合わせには応じられません。

2) 入講手続

- (1)手続期間：2022年3月24日(木)～2022年4月15日(金)
- (2)入講に係る手続については、合否結果の通知文書に書面を同封し案内します。

9. その他

- 1) 提出された書類により得られた個人情報は、受講審査関連のために利用し、その他の目的には一切使用しません。
- 2) 出願をお考えの方は、下記のメールアドレスに、送付先(郵便番号、住所、氏名)を正確に入力し、必要書類を請求してください。病院から折り返し、郵送にて送付いたします。
- 3) 既習科目(eラーニング)の認定及び履修免除を受けようとする方は、お問い合わせください。

10. 試験に関する書類の送付先及び問い合わせ先

1) 送付先

〒701-1192
岡山県岡山市北区田益 1711-1
独立行政法人国立病院機構岡山医療センター
特定行為研修 受講審査係

2) 問い合わせ先

独立行政法人国立病院機構岡山医療センター
管理課 深来 繁
電話(代表)：086-294-9911 内線：8181
* 祝祭日を除く月～金曜日の8：30～17：15までにご連絡ください。
E-mail：504-tokutei@mail.hosp.go.jp